

専攻の区分「音楽」の修得単位の審査の基準の改正について

平成 29 年度から、専攻区分「音楽」の修得単位の審査の基準を改正します。改正後の審査基準による学位授与申請の受付は、平成 29 年度 4 月期からとなりますので注意してください。

専攻の区分

専攻分野の名称

音 楽

芸 術 学

芸術の中で、時間的芸術分野に当るものが「音楽」である。そこには、作曲に関する領域、演奏に関する領域、音楽理論・音楽史領域、音楽教育領域の 4 つの領域がある。したがって、これらの領域・内容について学修した上で、人間と音楽との深い関わりから学修のテーマを考えることが望ましい。学士の学位を得るためには、質の高い演奏技術や音楽理論、世界中の伝統音楽やあらゆるジャンルの音楽、現代社会での音楽等を、広い視野に立ってバランスよく学修することが求められている。学士のレベルとして、「演奏に関する科目」の区分を含み 3 区分以上にわたることが求められているが、音楽の学修をより質的に高めることから美術、演劇など、芸術全般にわたって学ぶことも大切である。

● 修得すべき専門科目と関連科目の単位 (62 単位以上)

| | | |
|--------------|--|--|
| 専攻に係る授業科目の区分 | 専門科目 (40 単位以上) | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○作曲に関する科目 ○演奏に関する科目 (4 単位以上) ○音楽理論・音楽史に関する科目 ○音楽教育に関する科目 | 左の区分のうちから「演奏に関する科目」の区分を含み 3 区分以上にわたること |
| | 関連科目 (4 単位以上) | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ◇文化史・文化論に関する科目 ◇哲学に関する科目 ◇外国語に関する科目 ◇民俗学に関する科目 ◇社会学に関する科目 ◇心理学に関する科目 ◇教育学に関する科目 ◇情報科学に関する科目 ◇美術に関する科目 ◇演劇学に関する科目 ◇経済学・商学・経営学に関する科目 ◇生理学に関する科目 | |

■ 専門科目の例 ■

○作曲に関する科目

和声学, 対位法, 作曲法, 編曲法, 管弦楽法, 電子音楽 (コンピューター音楽) など

○演奏に関する科目

ソルフェージュ, スコアリーディング, 独唱, 重唱, 合唱, 指揮法, ピアノ, オルガン, 弦楽器, 管楽器, 打楽器, 伴奏法, 室内楽, 吹奏楽, 管弦楽, 雅楽, 民族楽器, 日本の楽器 (箏, 太鼓等), 電子楽器, ジャズ, ポップス, 舞踊など

○音楽理論・音楽史に関する科目

音楽美学, 音楽通論, 楽曲分析, 楽式論, 西洋音楽史, 東洋音楽史, 日本音楽史, 民族音楽理論, 宗教音楽, 音声学, 楽器学, 音楽音響学, 音楽心理学, ワールドミュージック論, ジャズ論, ポピュラーミュージック論, 音楽マネージメント論, 音楽著作権論, 音楽出版論, 放送メディア論など

○音楽教育に関する科目

音楽教育概論, 音楽教育法, 音楽教育史, 音楽教材研究, 幼児音楽教育, 音楽教育心理学, 音楽療法, リトミックなど